

令和4年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区 名 東淀川区
学校名 大阪市立豊新小学校
学校長名 高品 勝年

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和4年4月19日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動をご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問紙調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・豊新小学校では、第6学年 61名

令和4年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

今年度も全国学力・学習状況調査は、児童のがんばりが見られた調査であった。特に、無回答率が全国や大阪市と比べて格段に低く、いろいろな方法を駆使して答え導こうとする姿勢を感じる。また、初めて3教科の調査すべてで大阪市の平均正答率を上回り、国語においては全国平均をも上回った。

これも、各教員が主体的対話的な授業力の向上に向け、研究や研修に積極的に取り組んできたことや、基礎的基本的な内容を重視し、「やりきらせること」「全員理解」を目標に取り組んできたことの成果であると考える。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

[国語]

知識や技能に関わる内容（言語事項等）の正答率が高く、思考力、判断力・表現力にかかわる内容（読む事項・書く事項等）では、正答率が低くなる。

[算数]

苦手意識を感じさせることなく、どの領域もまんべんなく正答できている。

[理科]

領域ではなく、問題形式によって正答率の差が大きく異なる。選択式・短答式の問い合わせに関しては、平均正答率65.5%以上を残しているが、自分の考えをまとめて書くというような記述式の問い合わせに関しては、平均正答率43%と極端に低くなる。

質問紙調査より

各教員は“主体的で対話的な深い学び”に近づくよう授業の改善に取り組んでいるところであるが、質問紙における「課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる」「話し合い活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる」「自分の考えがうまく伝わるよう、工夫して発表している」の肯定的な回答は、それぞれ65.5%・72.4%・53.4%と、大阪市平均・全国平均より低く、また前年度の調査結果をも下回っている。今後も授業改善に向けた取り組みを、より一層進めていく必要がある。

一人一台PCの活用にあたっては、96.6%が「勉強の役に立つ」と肯定的に答えているが、授業時間内の使用状況に関しては、前年度は8.6%と隔たりが大きく、今後の授業時の積極的活用が急務である。

今後の取組(アクションプラン)

本校児童の課題でもある「文章で表現する。」「要約する。まとめる。」「仮定しながら答えを導く」等、論理的思考の充実に努め、

- ねらいを分かりやすく示しながら、どの児童も参加していく導入を工夫したり、児童の考えを引き出すような発問はもとより、授業を振り返り学習内容の定着を図る板書やまとめを工夫したりする等の授業改善を進め指導力を高める。
- 習熟度別授業を始めとした少人数指導の拡充を進め、個に応じた指導の充実を図るなど指導方法の改善に努める。
- 「学習教材データ配信」等を活用し、各教科の基礎的・基本的内容の定着率を高めるとともに、考え方や意見を伝え合う話し合い活動や“書く”習慣を付ける活動を授業に取り入れながら学習内容の活用を図る授業を行う。
- 学習習慣を向上させる指導の徹底化を図るとともに、必要に応じた補充学習の時間や機会を、さらに設定していく。

これらを通して、主体的で対話的な学びを進めていく。また、同時にクロームブックを学習活動に積極的に活用していく。